

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 埼玉環境カウンセラー協会

26A-35

代表者：会長 中村 章

URL : <http://www.saieca.com/>

1. 活動が必要とされた状況

当協会は、「市民、事業者及び行政機関のパートナーシップの形成に努め、環境保全活動を推進する」ことを目的とすると定款に定めており、例年、社会教育の推進、環境の保全などに向けた非営利活動を行っている。その一環で行ったものである。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 実施時期

11月23日(木)

(2) 参加人数

会場参加 22名、オンライン参加 8名 計30名
埼玉県を始め、多くの団体の協力も得、昨年の参加者数を大きく上回った。

(3) 活動内容

昨年、生態系の保全をテーマに講習会を開催したが、聴衆の多くから、引き続き「生態系保全」を望む声があり、NHK朝ドラ「らんまん」にも因み、牧野富太郎博士が名付けた「ムジナモ」をテーマとした。

〈演 題〉 「ムジナモから考える生態系保全」

〈基調講演〉 埼玉大学 名誉教授 金子康子 氏

〈活動報告〉 羽生市ムジナモ保存会 中野忠男 氏
SECA 会員 内藤定芳 氏

〈会 場〉 埼玉会館



3. 活動の成果

詳しく、分かりやすく講演をいただき、参加者からも、「よく理解できた」「有意義であった」との声をいただいた。

そして、参加者数が、昨年開催より大きく増えたこと。行政、団体からの支援もいただいた結果でもあり、まさに、当協会の活動目的である「市民、事業者及び行政機関のパートナーシップの形成に努め、環境保全活動を推進する。」が実ってきているものと感じている。

4. 今後に残された課題

当協会の主催する「環境保全講習会」は、まず、社会に関心のあるテーマを選定して行っているものの、その結果、参加者が「いいね」と思うに留まっていたら、社会に充分活かしたものにはならない。それぞれが社会に活かした活動とするなど、次のステップに臨むようにしたい。私たちの課題と捉え、今後に臨みたい。